

和倉小だより

「わくらっ子の日本一をアップデート！」 **進取** **協働** **貢献**

学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>

学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp



3月号

七尾市立和倉小学校

TEL 62-2070

FAX 62-2082

文責：佐野

6年生ありがとう！「思い出まつり」

2月26日（水）に、お世話になった6年生の卒業を前に、全校で最後の思い出づくりをしました。5年生が中心になって計画や準備をし、各学年は出し物をして感謝の気持ちを伝えました。これまで全校のために一生懸命頑張ってきた6年生は、最高の思い出ができたことと思います。児童一人一人のよさが見られ、笑顔がいっぱいあふれたすてきな時間となりました。参観された6年生の保護者の皆様におかれましては、寒い中ではありましたが、本当にありがとうございました。



家庭と連携して「進取」の心を育む

週末に「進取の心でお手伝いチャレンジ」に取り組んだ後、保護者の方からの温かいメッセージをいただきました。それぞれの家庭での親子のふれあいの様子が見られるようで、とても微笑ましく読ませていただきました。どうか「進取」の心で「貢献」できる和倉っ子でありますように…。

＜保護者の方のコメントより＞

- ・ゴミ出しをしてくれていますが、今回は私が仕事に遅れそうでしたので洗濯物を全部干しておいてほしいとお願いをしました。帰ったら、ちゃんと全部干してくれてあって本当にうれしかったです。助かりました。ありがとう。（2年生保護者）
- ・リビングは常にきれいに！を心がけ、学校方帰宅後必ずリビングの掃除をしてくれています。掃除の後に宿題をするそうで、きれいな部屋で宿題をしたら気持ちがいいと毎日欠かさず掃除をしてくれています。親が言わなくてもするのは、大人から見ても尊敬です！助かるお手伝いはポイント制にしています。週末ポイントの分お小遣いをあげています。※ポイントは少ない金額で設定しています。欲しいものがあったらポイント貯めてGETしています。（4年保護者）
- ・美味しいサラダ、いろんなおかずを作ってくれてありがとう。また、美味しいご飯を作ってね。楽しみにしています。（3年保護者）
- ・お風呂掃除や食器の片付けなど、率先してやってくれています。（4年保護者）
- ・オムライスのたまご作り、部屋の片づけ、窓ふき、除雪、ママがお仕事とかでバタバタしているのを見ていて気づいてやってくれてありがとう。たまに手紙も書いて待っていてくれてうれしいよ。いつもありがとう。（1年保護者）
- ・子どもが進んで、お風呂の掃除と湯沸かしをしてくれるようになり、とても助かっています。1番下の子の面倒を見てくれて、お兄ちゃんになったなあと感じられる場面も見られるようになりました。（5年保護者）

- ・夕飯にもう一品何かほしいなあ…と考えていると、本人が作りたい！と希望して卵焼きを作ってくれました。卵を割るのもだいぶ上手くなり、以前に作り方を教えたことを思い出しながら「落ち着けー！大丈夫！ゆっくりだ！」と1人でいいながら最後まで頑張って作っていました。完成した卵焼きをお父さんが「すごく好みの味で美味しかったよ」と伝えるととても本人も満足気でした。（4年保護者）
- ・連絡帳に「ごはんづくり」と書いてあり、1年生には難しいのでは？と思うながらも日曜日のお昼ごはんを任せてみました！教えながら、少し手伝いながらでしたが、卵焼きと白菜と人参のお味噌汁を作ってくれました。弟と妹に美味しいと言われるととっても嬉しそうにしていました。食後のお片付けやお皿洗いまでしてくれて助かりました。（1年保護者）

和倉っ子考案「復興メニュー」で元気になあれ！

総合的な学習の時間に、和倉の復興について自分達にできることはないかと考えてきました。5年生は、食をテーマにして「復興メニュー」をいろいろ考えました。和倉の避難所で食を支えてくださった中華料理の北京さんや発酵食の厨 oryzase の北谷さん、epice の小山さん、みとねさん、アンリスのパン屋さんから、たくさんアドバイスをいただきました。

先日は、「復興デザート」として「ころりんパフェ」を能登ミルクの堀川社長さんと宙さんが食数限定のチケット制にして作ってくださいました。能登ミルクのアイスところ柿のコーボなど、5年生が知恵と工夫を出し合い、実際に実現することができました。

また、児童が自ら選んだ食材には、「能登豚」「七尾産のたらの魚」「春菊」「金糸瓜」…。さらに調味料までこだわり、「いしる」や「とり野菜味噌」を取り入れるなど、能登の地産地消や地元のよさを考えたものばかりです。まずは能登香島給食センターの杉森栄養教諭が、校区の給食に提供してくださいました。



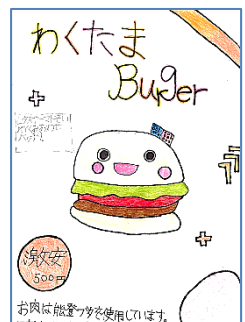
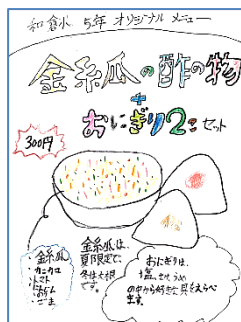
わく天丼



金糸瓜の酢の物



能登豚丼



テレビ金沢の取材では「何点でしたか。」とインタビューされて、5年生の小泉さんは、「100点中…1億点です！」と答えていました。また木谷さんは、「パンと具材がよく合っていました。」と答えていました。



2月27日付 北國新聞より

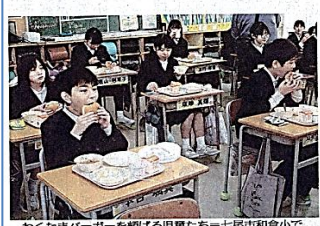


足音 復興パフェ 児童と考案



2月27日付 読売新聞より

復興応援バーガーうまっ！



和倉小児童の考案給食

七尾市和倉小学校の5年生がふるさとの復興を応援しようと考案した給食メニュー「わくたまバーガー」が26日、同市の4小中学校で提供された。給食を通して地元の食を発信し、地域に元気を届ける。児童らは総合的な学習の一環で、「食」をテーマに地域で取れる農産物や海産物について理解を深めてきた。グループに分かれて四つのメニューを決めた。飲食店や栄養士の監修のもと、地元産食材を使った「温泉わく天丼」「復興応援酢の物」などが、これまでに提供されてきた。

2月27日付 北陸中日新聞より

堀川社長さんは、第2弾をととても楽しみにされていました。ご協力をありがとうございました。